

「先生、感謝！」  
「ほや、感謝しかないわ」

楽しく無邪気な時間を共に過ごした福井市立順化小学校時代の友人と担任の河原ジュン先生の墓参りに行った時、皆の口から出た言葉だった。

師範学校卒の戦争未亡人だった先生は優しさと強さを兼ね備えた女性で、「福井が空襲を受けた時、先生は燃えさかる中心街の学校へと走ったのよ。生徒たちの資料や作品を守りたくてね。生命をかけて守るものがあるのはありがたいことね」と語り、読書や作文、花づくりを通して私たちを導いてくださった。

夏休み中、誰もいない学校で、先生が清掃、花の手入れをされる姿を幾度も目にすること

があった。トイレの横にまで花を植える先生に「そんな暗い所、誰も見ない」と私が賢げに声をかけたことがあったが、先生は「だからキレイにするのよ」と日焼けした顔を上げられた。その瞬間の体に走った恥ずかしさと先生の魂の美しさへの憧憬は、今も鮮烈である。

学校では、ふるさとのことを学ぶ時間があり、地元の暮らしの特長やルーツを教えられた。当時の私は将来は新聞記者かスチュワーデスになって世界を飛び回ろうと考えていたので、ふるさと学が何になるのかと思ってもいたのだが、年を重ねるにつれ、育った土地に思いをいたし、友人たちの店の手伝いをさ

### 参院議員 山谷えり子



〈やまたに・えりこ〉サ  
ンケイリビング新聞編集  
長、国務大臣(国家公安委  
員長・拉致問題担当)な  
ど歴任。1男2女の母。

せてもらったことがいかに贅沢であったかと感じている。

今も当時のクラスの団結力は固く、2年に1度のクラス会出席率は抜群である。友人たちが家業の理髪店や寝具店、電気店、材木店、飲食業などを時代に合わせながら守っている姿は、先生が元気に真面目に工夫しながら生きよと教えてくれた賜物であると思える。

私は中学時代、父が「地盤、看板、カバン」なく衆院選に出

りした福井神社の横にある。冬は広々とした学校周辺を雪かきするのは苦労だったが、街の人々が歩きやすいよう子供ながら役立てる喜びも味わえたことになつかしく思う。

今の日本には希望が足りないと言われる方々もおられるが、そう軽々に口走るのはいかかなものか。一人一人が分にあった使命を自覚し、感謝することこそが希望の力の源であろう。世界は遠心分離器に入ったか

## 福井の歴史を語る

馬、落選して福井を離れたが、ぼたん雪の降りしきる晩、汽車に乗る時「えりちゃん、東京行って、負けたらあかんぞ」と声をかけてくれた先生と友人らの親身な顔は忘れられない。

先月、その福井で男子中学生が先生の厳しい叱責を苦に自殺した調査報告書が公表された。胸が痛む。全国学力、体力、生活習慣調査などでトップクラスの福井でも基底が弱くなっているのだろうか。「教育課題を共有します」と地元の人々がつらそうに語ってくれた。

今週の日曜日、母校の創立150周年記念行事があって、私も出席した。福井城址に隣接した小学校は、松平春嶽公をお祀

のように憎しみや対立、批判合戦で淋しい限りだが、日本の文化は和と共生の文化である。

教育の質の向上や多忙で燃え尽きそうな先生方への配慮、教育費の負担軽減など政治のやるべきことも多い。今回の衆院選ほど各党が教育をテーマに訴えたことはない。リセット、と乱暴に叫ぶのではなく、各地の持っている宝を感謝の心と技へとつなげる教育再生を実らせたい。

カズオ・イシグロ氏のノーベル文学賞受賞に接し、ふるさとの血と文化のDNAの力に思いをいたした方も多かるう。幼少期の愛と憧れに包まれた環境の果実を、たーんと現代の子供らに贈りたく思う。

### ■ 解答乱麻 ■